## 社会資本総合整備計画書(事後評価書)

計画名 社会資本総合整備計画書住田町の心地よい生活環境を支える道づくり

平成29年6月19日

5.3%

計画の名称 | 住田町の心地よい生活環境を支える道づくり 平成22年度 ~ 平成26年度 (5年間) 交付対象 住田町 計画の期間

448百万円

住田町内の国道及び県道へのアクセスを円滑にし地域の産業振興・生活環境の確立を図り、豊かな自然につつまれた快適で安全な町づくりを実現する基盤づくりを行う。

## 計画の成果目標(定量的指標)

計画の目標

- ・道路整備による平均走行速度アップにより町道間のアクセスを円滑化し国道及び県道までのアクセス時間を短縮
- ・道路の機能を保全するために対策が必要な箇所の整備率

(A+B+C)

473百万円

定量的指標の定義及び算定式	定量的	]指標の現況値及び	備考						
	当初現況値	中間目標値	最終目標値	加考					
	(H22当初)	(H24末)	(H26末)						
町道経路から国道及び県道にアクセスする地域間の通行に要する時間を走行距離及び走行速度により算出する。	0分	1分	3分						
アクセス時間(町道経路から国県道までの所要時間(分単位)) = 60分×走行距離km(整備延長)/走行速度km/h(設計速度)	0),	1))	3分						
要対策と対策箇所により算出するものであり、その算定式は、(対策済箇所数:要対策箇所数)×100(%)とする。	11%	53%	100%						
71%									
△比東光典 合計 992百万円 A 943百万円 B 0万万円 C 49百万円	効果促進事	4業費の割合		4.9%					
全体事業費	$C / (\Lambda$	L D L C)		E 30/					

25百万円

C / (A+B+C)

付対象	事業											上段:詞	<b>計画 ■</b>		下	段∶実績 ■															
番号	事業	地域	交付	直接	事業者	事業及び	省略	要素となる事業名	事業内容	市町村名		事業実施期間 (年度)				全体事業費	備考														
	種別	種別	対象	間接	于木石	施設種別	工種	女示となり事末石	7 未17石	111-1111	H22	H23	H24	H25	H26	(百万円)															
19-A1 道路 一般 住田町 直接 市町村道 改約		古町村道	改築	(1) 二度成木船作線 西野工区	道路改良 0.84km	住田町						96																			
	以未		道路改良 0.84km	正四一						62																					
19-A2	9-A2 道路 一般	般住田町	直接		市町村道	改築	(他)役場別当線 川向工区	道路改良 0.16km	住田町						107																
5 112	旭和	/4X	压用-1	正区		114111111111111111111111111111111111111	以未		道路改良 0.16km	正用心						79															
9-A3	A3 道路 一般 住田町	2. 住田町	住田町	住田町	直接		市町村道	改築	(他) 役場前線 川向工区	道路改良 0.30km	住田町						74														
э но	坦坦	ЛХ		四版	旦.1女	旦.1女	匹1女	四.1女	旦1女		117-171170	以米	(區) 及勿削冰 川南工区	道路改良 0.30km	压用*1						79										
9-A4	9-A4 道路 一般 住田	住田町 直接	直接	直接	直接	直接	直接	直接	直接	直接	直接	直接		市町村道	改築	(他)長者洞沢田線 長者洞工区	道路改良 0.10km	住田町						21	他の事						
	正田山 匝顶	匹汝		114 : 11   1 XE	ツボ	(后) 发音的化用物 发音的工匠	道路改良 0.10km	压用*1						0	整備兒																
9-A5	-A5 道路 一般 住田町 直接 市町村道 改築		古町村道	沙策	(1) 火石川向線 川向工区	道路改良 0.50km	住田町						258																		
7 110		以未		道路改良 0.50km	正用心						0																				
9-A6 道路 一 <sup></sup>		一般 住田町	直接	直接	直接	直接		市町村道	改築	(他) 深渡線 深渡工区	舗装新設 0.13km	住田町						56													
7 110		以未	道路改良 0.13		正用心						42																				
9-A7	道路	雪寒	住田町	田町直接	直接	直接	直接	直接	直接	直接	直接	直接	直接	直接	直接	直接	直接			市町村道	除雪	(1)新切新田線外12路線	除雪 22.6km	住田町						15	
) Ai	但如		T HI 1-1					117-11170	かヨ	(1) 初 93 初 四 柳 7 [-12 四 柳	除雪 22.6km	压用*1						12													
9-A8	道路	一般	一郎 住田町	住田町	住田町	住田町	<b>企田町</b>	<b>公田町</b>	十二日廿	住田町	直接		市町村道	修繕	(1) 合地沢線外7路線	舗装補修 6,0km	住田町						274	J							
9-40 担陷 加 日	压用品 巨顶	匹汝		印码机边	中四年	114年17年	114-51 作1 10	111年11年1	10-511710年	中可们是	ラルロ	(1) ロギビが入れたことには行列を	舗装補修 3.9km	压用*1						174											
9-A9	-A9 道路 一般	一般	一般 住田町	住田町	直接	直接	直接	市 直接		市町村道	改築	(他) 川向 4 号線 川向工区	道路改良 0.12km	住田町						42											
110	사보기	州人	IT HI-1	匹灰		14111111E	<b>以</b> 未		道路改良 0.12km	TH-1						0															
														小 計		943															
														√1. bl		448	1														

B 関連	巨社会資本	整備事業	Ė																	
	地域 交付 直			事業者	省略	要素となる事業名	事業内容	市町村名□	事業実施期間(年度)				全体事		備考					
111 万	種別	種別	対象 間接 事業名 工種 安糸となる事業名		ず未71分	川州和石	H22	H23	H24	24 H25 H26		(百万円)								
						Į.	<del>'</del>	<del>!</del>	ļ.	ļ		合計								
番号	H-65)>	· 中华上 :	7 > 1.7 = 1	トか世は	ナムフ☆	Ħ									•	備考				
留万	一体的に	- 夫肔りる	ることによ	トリ 期付	される <b>%</b> ):	未										佣石				
0 41	7n \# = #																			
C 効果	是促進事業								•			施期間								
番号	事業	事業 地域 ダ		直接	接事業者	事業者	事業者	事業者	省略	要素となる事業名	事業内容	市町村名		全体事業費	備考					
ш //	種別	種別	対象	間接	7.7.1	工種	女形となる事業有	<b>学</b> 来门在	111-14134	H22	H23	H24	H25	H26	(百万円)					
3-C1	計画・調査	一般	住田町	直接		計画・調査	橋梁長寿命化修繕計画策定事業	32橋	( <del>)-</del> 171 <del>   -</del>		A 田町		住田町				ļ		9	
3-01	計画・調宜	一月又	往田町	旦.1女		計画 • 神宜	<b>简条女寿叩化修縉訂四界足争</b> 表	5橋	1生田岬						6					
		4n.				31 am-4	Mark to be for the service of the se	道路台帳データベース	/						20					
3-C2	計画・調査	一般	岩手県	直接		計画・調査	道路管理システム整備	道路台帳データベース	住田町						17					
			道蚁	道路修繕							20									
3-C3 計画・調査 一般 岩手県 直接 計画・調査		計画・調査	道路修繕計画策定事業	道路修繕	住田町						2									
	l	1	1		1	1		人巴西日沙市日	1	I.	<u>.                                    </u>	<u>.                                    </u>		<u>.                                    </u>	49					
1												小計			25					

## 2 事業効果の発現状況、目標値の達成状況

交付対象事業の効果の発現状況

1 定量的指標に関する

- 町道二度成木船作線の現道拡幅を実施した結果、車両のすれ違いさえも困難の箇所等整備したことにより日常生活の安心な生活が図られた。

- ・町道役場別当線は、公共施設への連絡道路であることから片側歩道を配置、歩行者の安全と円滑な走行の確保が図られた。
- ・町役場前線は、公共施設への連絡道路であることから片側歩道を配置、歩行者の安全と円滑な走行の確保が図られた。
- ・町道深渡線の現道拡幅を実施した結果、緊急車等(消防車など)の円滑な走行が図られた。
- ・住田町の町道延長に対する舗装整備延長(舗装整備率)の向上させる。

Ⅱ定量的指標の達成状況	指標①アクセス所要時間(分単位)) =60分×進行距 減たのでででででででである。 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、	最終目標値	3分	目標値と実績値 に差が出た原因	**************************************		
		最終実績値	3分		交付金事業の低内示により、事業進捗が減少したため。		
		最終目標値	100%	目標値と実績値	交付金事業の低内示により、事業進捗が減少したため。		
		最終実績値	65%	に差が出た原因	入口业 ず 木ツ (はピュハ)により、ず 木 た (ヴ / い)ペン しに にい。		

Ⅲ定量的指標以外の交付金対象事業の効果 発現状況(必要に応じて記述)

## 3. 特記事項

・本整備計画は、平成22年度から平成26年度までの5年間を計画期間とし、地域の産業振興・生活環境の確立を図り、豊かな自然につつまれた快適で安全な町づくりを目標とし、事業を進めてきた。 平成26年度以降に事業が継続する箇所について、新たな整備計画のもと、引き続き各事業を進めることにより、地域に密着した道路交通を円滑に確保する道をつくる。

